

# みやぎ街道交流会NEWS



2012年9月26日発行

## 「関山街道フォーラム」道がなぐ絆 関山街道の新しい魅力再発見！NEWS後

関山街道沿線には、自然、歴史、文化、風土などの豊かな地域資源があります。これらをめぐって、郷土史を調査・研究されている方々、市民活動団体・企業・行政などさまざまな活動・取り組みが行われています。

こうした各団体の取り組みは、ややもすると個別の活動に止り、横のつながりが必ずしも充分ではないと感じていました。これらの団体同士が相互に交流し、それぞれの情報を共有し、絆をより一層深め合う出会いの場、きっかけがあれば、そこから新しい展開に道が開けるのではないと思えました。そこで、みやぎ街道交流会が中心になり呼びかけ、これに応じた20団体により、平成23年12月に実行委員会(実行委員長/平川 新 東北大学教授・みやぎ街道交流会顧問)を発足して、「関山街道フォーラム」を開催しました。

その内容は、4月28日のプレイベント「関山隧道&嶺渡り」、5月26日の「関山街道フォーラム(記念講演・基調報告・活動事例発表会、交流会)」、翌27日の街道探訪会「宿場町を歩こう」、活動紹介・パネルの巡回展示と多彩な内容で、3日間延べ227名と一般市民の皆さんも含めた多くの方々に参加していただきました。(詳細は、「関山街道フォーラム」報告書をご覧ください。)

参加者アンケート結果からも活動の継続や次回の開催を望む意見が多く寄せられました。これらのことも踏まえて、7月28日に実行委員も参加して開催された拡大事務局会議において「関山街道フォーラム」活動継続の方針が決定されました。来る12月開催予定の実行委員会において、各団体の緩やかなネットワークとして発展的に再発足することとしています。

この活動継続の決定方針を受け、現在、2部会が発足して、取り組みを始めており、その内容を紹介します。



関山街道フォーラムの様子

### ◆「土の道マップ作成部会」(9月1日発足)

各団体が作成している独自の探訪マップを1/25千地形図に統一したわかりやすいマップにする取り組みを進めています。3月末を完成目標としており、来春からは、マップを活用した各団体によるリレー探訪会などを開催したいと張り切っています。

### ◆「鉄の道部会」(9月15日発足)

この地域の人たちはJR仙山線への思いも強いこと。また、交流電化の発祥の地として、新幹線の成功につながった歴史もあることから、仙山線の活用と地域活性化を目指した部会も発足しました。

当面は、土木学会の選奨土木遺産の認定に向けた活動を実施することとしております。活動内容としては、仙山線の思い出座談会、ビューポイント鉄橋や鉄道遺産の探訪会、作並駅転車台の清掃・復活、利府車両基地にある試験機関車の移転展示などを検討しています。

その他、中・長期的には、関山隧道や嶺渡りの刈り払いなどの整備や温泉とタイアップしたツアーの企画・実施、宮城・広瀬地区に眠る文献・物品・写真・絵画・スケッチなどのお宝発見、食文化の復活などの楽しそうな構想が話題にあげられています。

みやぎ街道交流会会員の皆様には、これらの活動へのご理解をいただくとともに、部会スタッフとしての参画やイベントへの参加などご協力をよろしくお願いいたします。

「関山街道フォーラム」実行委員会  
事務局長 横山修司

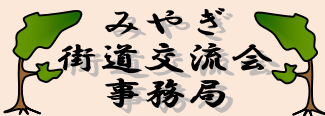


マップ作成部会の様子



鉄の道部会の様子

ニュースで紹介したい催しや報告などはこちら事務局までお寄せください!



〒980-0014  
仙台市青葉区本町1-13-32  
オーロラビル2F

TEL: 022-722-3380

FAX: 022-722-3381

Mail to: miyagi-kaidou@auone.jp

## 〇〇 イベント情報第1弾! 〇〇

### ◆史跡のまち再生事業「多賀城碑のなぞを探る」作文募集中!

主催/多賀城市史跡案内サークル・みやぎ街道交流会

内容/【I】作文募集 テーマ:①多賀城碑の「西」は何を意味しているか  
②「多賀城の由来は」

千字程度、10月20日必着 問合せ/090-1937-3147(大橋)

作文応募先:多賀城市中央2-25-3 多賀城市史跡案内サークル宛

【II】12月1日(土)13時~ 於/東北歴史博物館講堂

入選者作文発表会、基調講演(講師多賀城跡調査研究所長)、表彰式(入選・大賞)  
17時~ 街道談義(キリンビヤポート仙台)

【III】12月2日(日)9時~ 探訪ウォーク「多賀城のなぞを探る」(2~3コース予定)

※【II】~【III】は、後日に詳細をお知らせいたします。

# とうほく街道会議第8回交流会 会津五街道ウォーク 合同大会レポート

平成24年7月27日(土)及び28日(日)、「蘇れ東北 会津から元気を！」をテーマに「とうほく街道会議第8回交流会」が「会津五街道ウォーク」との合同大会として、福島県南会津郡下郷町ふれあいセンターを主会場に開催されましたので、その概要を大会報告書から抜粋してレポートします。

## 第1日目(27日) 交流大会

オープニングに先立つ郷土芸能として、大正末期頃に地元青年団によって始められた、大変におもしろおかしな「山志神楽」が演じられました。



### ◆基調講演 「異文化としての日本」

講師／椎名 誠氏(作家・エッセイスト・写真家ほか) [参加者320名]

椎名氏は、奥会津の金山町で映画撮影したことをきっかけに、何度も金山を訪れているそうです。雰囲気そのままの親しみやすい話し方で、作家としての彼の日常や、極寒の地での生活など世界各国を旅しての体験談を披露されました。日本の豊かで美しい自然や澄んだ水、文化などは、世界的にも類い希なもので、私たちはその大切さを決して忘れてはならない。また、日本ならではの文化や道などを海外と比較しつつ、日本の不可思議さ・異常さについて、ユーモアも交えた興味深い話でした。



### ◆第1分科会 「茅を葺く」 [大内宿／米屋 参加者55名]

(語り人)

大内宿結いの会会長佐藤義孝氏／岩瀬湯本湯口屋旅館館主星 完治氏／天栄村教育委員会課長小山志津夫氏／福島県喜多方建設事務所建築住宅部長新聞 永氏

(コーディネーター)

ふくしまけん街道交流会世話人鈴木勝徳氏

佐藤氏より「全国茅葺きフォーラムについて」の事例発表後、それぞれの立場・経験から意見交換が行われ、茅葺き屋根は素晴らしい財産で大切であるが、個人での維持管理は困難という大変大きな課題もあること。そういったものに対しては、行政の支援はむろん、地域の連携・世代間でつないでいくというような取り組みを考えていかなければいけないこと。また、金・人・ものの3つがうまくつながっていかないと地域もうまく維持出来ないということが確認されました。



### ◆第2分科会 「地域を守る」

[大内宿／集会所 参加者89名]

(語り人)

会津柳津温泉月見亭代表取締役武田美恵子氏／<sup>とよ</sup>季の郷湯ら<sup>り</sup>里支配人目黒典子氏／国土交通省郡山国道事務所所長酒井洋一氏／万世大路研究会代表阿部公一氏

(コーディネーター)

福島県南会津建設事務所所長高橋直正氏

高橋氏より、3.11東北地方太平洋沖地震、H23年台風15号及びH23年7月新潟・福島豪雨の被害状況について説明があった後、目黒・武田両氏からH23年7月豪雨での被災体験や被災状況の話がありました。復興など地域で頑張っている方々がそれぞれの思いを語り合い、その思いを共有することで、復興や更なる地域振興に向けて連携を深めていくことを確認しました。また、これらの災害において道路の大切さを再認識するとともに、今後の復興に際し、道路のあり方を共に考える機会ともなりました。



### ◆街道談義 [大内宿／山本屋・みなとや 参加者132名]

参加者が大変に多いことから大内宿の街道を挟んで向かい合う「山本屋」と「みなとや」に分かれましたが、行ったり来たりや街道脇の庭先での賑やかな街道談義となりました。



## 第2日目（28日）街道ウォーク

〔参加者 4コース計 207名〕

### ◆Aコース「下野街道（会津西街道）」 参加者 42名

福島県会津若松市から日光街道の宿駅、栃木県日光市今市に至る延長約128kmの街道であり、別に「南山通り」「今市街道」「日光街道」の呼び名もあります。

【コース】下郷町ふれあいセンター⇒南会津町萩野（国道121号分岐点）  
～山王権現社跡～山王峠頂上（馬頭観音石仏・栃木県境・分水嶺）  
～杉並木の道～栃木県日光市（ポケットパーク）⇒奥会津博物館（昼食）  
⇒下郷町ふれあいセンター ※バス移動は⇒、ウォーキングは～で示す。（以下同じ）

山王峠山頂には馬頭観音の石仏が安置されております。栃木県側へ急斜面のつづら折りの下りでは、随所に実行委員が整備した階段やトラロープの安全対策が施されており、安心して歩くことができました。



山王峠山頂地点（馬頭観音の石仏）



林の中の松川街道

### ◆Bコース「松川街道（会津中街道）」 〔参加者 49名〕

会津若松市から栃木県さくら市に至る延長100kmの街道であり、別に「松川新道」「宇都宮街道」の呼び名もあります。また、栃木県側からは「会津中街道」「会津北街道」とも呼ばれました。

【コース】下郷町ふれあいセンター⇒杉ノ沢一里塚～観音沼観世音堂  
～野際一里塚～野際宿民家（昼食）⇒兜石⇒日暮ノ滝一里塚  
～日暮ノ滝展望台⇒下郷町ふれあいセンター

野際宿の面影を残す築100数十年を過ぎた貴重な民家（星家）の前では、約300年前の松川街道開削当時の「会津中街道道中絵巻」や松川街道の写真資料などの説明がありました。

### ◆Cコース「銀山街道」 〔参加者 64名〕

会津盆地と奥会津の諸郷を最短距離で結ぶ古の道であり、会津若松市を起点として、会津美里町中田、松坂峠、銀山峠、大谷峠、美女峠、吉尾峠を経て、只見町小林で沼田街道（現国道289号線）に繋がります。

【コース】柳津町役場⇒久保田三十三観音⇒松ヶ下～大峯（飯豊連邦を望むポイント）～峠入り口（昼食）～銀山峠～愛宕神社（溶鉱炉の煙突が見える）～軽井沢銀山跡地⇒柳津町役場

「久保田三十三観音」では「銀山峠を復活させる会」からの説明がありました。街道は、きれいに整備され緩やかな傾斜の雑木林の小立が続き、涼しくて快適に歩くことができました。また、配られた柳津温泉無料入浴券を手に温泉を楽しんだ参加者もいました。



軽井沢銀山跡溶鉱炉の煉瓦造煙突



法用寺の三重塔

### ◆Dコース「会津まほろば街道」 〔参加者 52名〕

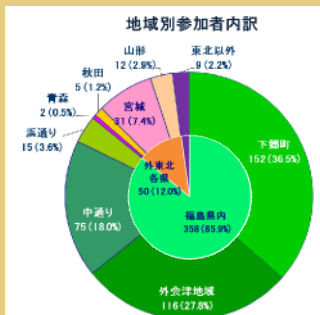
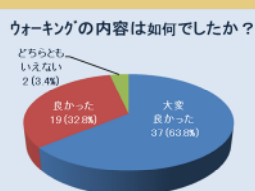
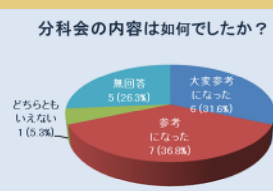
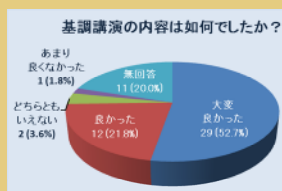
会津盆地西側を南北に走る現在の県道喜多方会津坂下線・赤留塔寺線です。古の時代、修験者が歩く街道として利用され、沿線には国宝・重文に指定されている寺社・仏閣が多く存在しています。

【コース】会津美里町新鶴庁舎～中田観音～法用寺～龍興寺～美里蔵  
⇒会津美里町新鶴庁舎

中田観音・法用寺・龍興寺では、会津美里町の観光ボランティアガイドから建物や仏像、歴史文化などについて説明があり、法用寺では地元の方々のご厚意によりお堂や三重塔の内部まで拝観することができました。

### 参加者内訳及びアンケート結果

- 参加者数は、第1日目322名、第2日目207名、2日間合計417名（延べ529名）でした。
- 地域別には、福島県内が358名（86%）ですが、県外から59名（14%）と多くの参加がありました。
- 基調講演・分科会は7割、街道ウォークはほぼ全員が良かったなど好意的な回答となっています。



# 山王遺跡(多賀前地区)発掘調査現地説明会 (H24.9.1) 報告

山王遺跡の発掘調査は、東北地方の震災復興に重要な役割を果たす三陸沿岸道路の一貫をなす仙塩道路の4車線化工事に先立ち、宮城県教育庁文化財保護課が調査を担当しているものです。

今回の発掘調査では、陸奥国府多賀城跡が機能していた奈良・平安時代の方格地割(碁盤の目状)の町並みの更なる解明と共に、『日本三大実録』に記載される貞観11年(869年)5月26日の陸奥国大地震の被害痕跡の発掘の有無が注目されていました。

みやぎ街道交流会では、3.11東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)が貞観11年の陸奥国大地震と類似性を指摘されていたことから、平成23年度定期総会記念講演会において、東北歴史博物館柳澤和明上席主任研究員に「貞観地震と多賀城」と題して講演を頂きました。(詳細は交流会ニュース第16号参照)

その際、この津波が砂押川を遡上して、古代都市多賀城の方格地割の町並みやその周辺を大きく浸水したものと見られていました。

今回の発掘調査現地説明会では、「9世紀中頃に起きた洪水によって堆積した砂層が、国司館跡の遣り水遺構周辺と水田跡で見つかり、貞観11年の陸奥国大地震に伴う津波堆積物の可能性もあるため、専門家に分析を依頼している」とのことで、その分析結果が待たれます。



上空よりみた多賀城跡と山王・市川橋・高崎遺跡



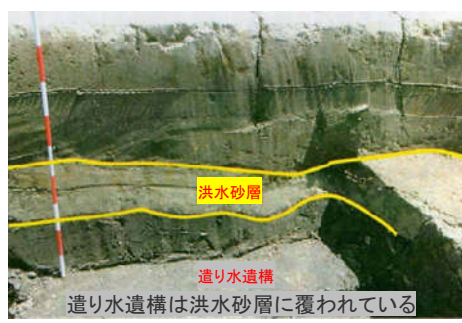
古代都市多賀城の町並み 方格地割Ⅲ期  
〔貞観11年～10世紀前葉頃〕

(写真・図は現地説明会資料より)



洪水砂層

砂層に覆われた水田跡



洪水砂層

遣り水遺構

遣り水遺構は洪水砂層に覆われている

## 〇〇 イベント情報第2弾! 〇〇

### ◆第12回「芭蕉の道を辿る、 島巡り観月の夕べ」in 松島

主催/おくの細道松島海道

日時/10月28日(日)13時40分

(JR東北本線松島駅前出発)

内容/松島地区(高城・根廻・左坂)を探訪後、  
長月十三夜の松島湾観月遊覧です。

松島駅～高城宿跡～旧街道・あてら坂～  
左坂支館～(バス)～観光棧橋・遊覧船乗船～  
(島巡り観月の宴)～観光棧橋下船(18時30分)

※徒歩6km

研修費/4千5百円(遊覧船乗船・お月見ご膳・  
研修資料・バス・地酒・焼牡蠣・保険)

その他/定員50名、10月1日募集開始

申込・問合せ/Email basho@malkyo.com

TEL 022-354-3146(赤間)

### ◆第8回羽州街道交流会上山大会

主催/羽州街道交流会上山大会実行委員会

日時/11月17日(土)13時30分～18日14時

会場/かみのやま温泉月岡ホテルほか

(山形県上市市新湯1-33)

内容/(1日目)基調講演「沢庵禅師と上山」

講師正木晃氏(宗教学者・慶應大文学部非常勤講師外)

分科会:①「街道と上山温泉」②「沢庵禅師と上山藩」

③「たくあん漬と山形の食文化」

街道談義:地元料理と地酒による交流会

(2日目)街道探訪会3コース:①羽州街道榎下宿と金山越え

②街道と城下町の今昔③「バードが歩いた道とやまびこ村

参加費/街道談義5千円・宿泊(月岡ホテル、朝食付)8千9百  
円・街道探訪会(昼食付)2千円

申込/FAX 023-674-9933(氏名・連絡先・生年月日等)

問合せ/TEL 070-6617-9933(斎藤)

### 【編集後記】

紙面の都合で報告出来ませんでしたが、8月5日に宮城県地名研究会主催「東日本大震災に見る災害地名」を受講しました。先祖からの伝言であるその土地の歴史や災害・崩壊地などを伝える地名が、土地開発などにより、語呂が良い地名に替えられ失われていくことを危惧しているとのことでした。我々の暮らす土地のこれら様々な情報にもっと関心を持つべきだと感じました。(ひで)

真夏の日々から一変した秋の訪れとともに、衣替えもままなりません。これからの探訪会では温かな格好をして紅葉の街道散策をお楽しみください。もちろん、食と酒も美味しい季節となりました。(たに)